

開設年度		開講部局	
2010		共通教育	
科目名			
循環と共生の科学技術社会			
英語科目名			
前後期	履修期		開講区分
前期	1期		毎週
科目形態	単位数	大分類(科目)	中分類(分野)
講義	2	教養科目	分野1
受講学部学科			
担当教員		担当教員所属	
野崎 勉			
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
090-9657-7068		nozaki_counselor@yahoo.co.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
【メール】随時			
共同担当教員			
キーワード1		キーワード2	
・社会的貢献意識		・コミュニケーション能力と相互理解	
授業概要(目的・内容・方法)			
産業革命以降、おびただしい化石燃料の多用と科学技術の発展とともに、地球温暖化をはじめとする地球環境問題が顕在化している。過去の蓄積としての化石燃料に依存しない資源循環型謝責を目指し、70億人もの世界人口と自然との共生には、国家や民族を越えた共生が不可欠である。そこにはさらにステップアップした技術と、技術者の倫理、その適用者と利用者とのコミュニケーションは不可欠である。			
学修目標			
文系・理系の学生を問わず、従前の技術開発のあり方を検証し、循環と共生の社会構築への新たな科学技術のあり方について理解を深める。			
授業計画(15回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
1. ガイダンス(講義概要など) 2. これまでの技術(科学技術史概論) 3. これまでの技術(科学技術の光と影) 4. 地球環境問題 5. 地球環境問題 6. これからの技術(循環と共生の技術) 7. これからの技術 8. 応用倫理(技術者倫理と環境倫理) 9. 科学技術と社会 10. 科学技術と社会 11. 科学技術と社会 12. 科学技術と社会 13. 暮らしの中の科学技術 14. 暮らしの中の科学技術 15. 期末試験			
受講要件		成績の評価基準	
		出席20%、中間課題提出物30%、期末試験50%により総合的に評価する。	
教科書		参考書	
野崎勉「循環と共生の科学技術社会」鹿児島学術文化出版 2009年		野崎勉「循環型共生社会をめざして、今、私たちにできること」鹿児島学術文化出版 2008年	
その他			

特になし